

夢と感動の舞台「チャレンジ! おおいた国体」が閉幕



▲開会式での集団演技の様子

第63回国民体育大会 「チャレンジ! おおいた国体」を終えて

第63回国民体育大会「チャレンジ! おおいた国体」につきましては、ここ国東市におきまして「正式競技としてウエイトリフティング」が、またデモンストレーションとしてのスポーツ行事として「デュアスロン」・「少年少女軟式野球」が開催され、連日にわたり多数の観客のご来場、温かいご声援をいただき、成功裏のうちにより全日程を終了することができました。

これもひとえに大会運営や会場整理、おもてなしの活動など、いろいろな分野で大会を支えていただいたボランティアの皆さんを中心とした、市民各位のご支援ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

また、郷土の代表として日ごろ鍛えた実力を遺憾なく発揮され、連日にわたる大活躍を見せていただきました選手・監督の皆さんをはじめとする大会関係者の皆さん、本当にお疲れ様でした。

お陰さまで、各競技会とも県内外から参加した選手・関係者の皆さんと市民の皆さんが、共に交流による喜びと感動を共有した思い出に残る大会とすることができました。また、全国各地からのお客さんに「国東市に来てよかった」との思い出を持ち帰ってもらうことができ、当初の目的でありました「簡素な中にも、おもてなしの心」のこもった、夢と感動あふれる大会の目標を達成できたものと確信しています。

最後に、「チャレンジ! おおいた国体」成功の原動力となった市民の皆様重ねて感謝申し上げます。併せて、今後とも国東市発展のためご支援いただきますようお願い申し上げます。第63回国民体育大会終了の報告、並びにお礼のごあいさつとさせていただきます。

平成20年10月

「チャレンジ! おおいた国体」

国東市実行委員会会長

国東市長 野田 侃生

【第63回国民体育大会ウエイトリフティング競技会】



▲歓迎のことばを述べる野田市長



▲会場の様子

審判・監督会議
10月3日(金)午後5時~5時15分の村国東
47都道府県の成年・少年の部の監督、審判・役員など約150名が出席。昨年度総合優勝の沖縄県から大会会長トロフィーが返還された後、櫻井勝利(社)日本ウエイトリフティング協会副会長があいさつ。開催地を代表して野田侃生国東市長が「ようこそ国東市へ。郷土の代表として日頃鍛えた実力を遺憾なく発揮され、お互いの交流の輪が広がる思い出に残る大会となるよう期待します」と歓迎のことばを述べました。